

われているが、当地においては自生しているヤマツツジを食している可能性が高い。ただし約2年にわたる調査で唯一頭しか得られなかったことなど、問題も多く含んでおり、追加記録、生態説明が望まれる。末筆ながら、同定していただいた大平廣士氏、並びに標本を快く恵与していただいた佐藤 学氏にお礼申し上げる。

## 神戸市立森林植物園展示館へ蝶標本寄贈

高 橋 寿 郎

既に御承知の通り神戸市立森林植物園内に展示館が完成1984年5月27日に開館一般に公開されましたが、これを機に“世界の蝶”と題して430種、132亜種、1210頭の蝶標本を寄贈させて頂きました（他に蛾8種、12頭、1箱—大型美麗種。一般昆虫40種、90頭、2箱）。ドイツ箱大53箱で蝶の内アゲハチョウ科が最も多く、240種、101亜種、815頭がふくまれています。之等の標本は逐次一般に公開される予定になっております。

(Sep. 1984)

## 神戸市立森林植物園展示館 及び 神戸市立住之園公民館にて甲虫標本展示

高 橋 寿 郎

5月26日に竣工した森林植物園展示館で参考出品として“世界の甲虫”と題して大きいもの、美しいものを中心に7月1日までドイツ箱8箱にタマムシ38種 84exs., カミキリムシ26種, 51exs., クワガタムシ9種, 38exs., コガネムシ（主としてカブト, ハナムグリ, テナガコガネ）21種, 68 exs. を入れて展示。

また神戸市立住之江公民館からの依頼もありこちらは“コガネムシの仲間”と題して食莖類コガネ149種, 842exs., 食葉類コガネ 140種, 634exs. をドイツ箱大12箱にて展示共に簡単な解説をつけた（6月28日～7月1日）。

余談ではあるが本年6～8月にかけて上記以外に神戸市内4ヶ所で昆虫展示会が開設された。また8月12～15日芦屋大丸にて“世界の昆虫展”が開催され話題のヤンバルテナガコガネの生きたものも出品されていた。

(Sep. 1984)

---

## 会費納入について お願い

1985年度会費 2,000円

現在の会員数・会費では会誌1号分の印刷費が赤字となっています。単純に会費値上げをお願いしたらとも思うのですが、そんなものでもないかと悩んでいます。6年間そのまゝの会費ですから値上げをお願いしたいとは思いますが原稿難の問題もあり頭が痛いです。

とにかく来年はそのまゝでやって見ます。出費多端の折、恐縮に存じますが会費納入を年内に同封振替用紙御利用の上お願い申し上げます。